

## 浪曲師・春野恵子

# 魂込めた波動感じて

浪曲師になる前は、落語や講談は聴いても「浪曲って、いまいち興味が湧かないな」と思っていました。タレントの仕事が続けることに疑問を感じ、自分が一生をかけてやれるものを探していた時、偶然、東京の寄席で浪曲を聴き、すげえ「これだ！」と思ったのです。

小さい頃から、ミュージカルも時代劇も好きで、「いつかやりたい」と思っていました。浪曲には、その両方の要素が詰まっている。生の舞台の醍醐味もある。修業を積み、長い時間をかけてつくり上げる芸の世界にもひかれました。



「ビートルズやカーペンターズなど、ミュージシャンの生涯を描く創作浪曲にも挑戦しています。浪曲にもいろんな楽しみ方があることを知ってもらえたら」と語る

はるの・けいこ 東京都出身。東京大卒業後、テレビのバラエティ番組などに出演。2003年に浪曲師・春野百合子に入門し、06年に初舞台。12年に「咲くやこの花賞」受賞。海外公演も積極的に行い、浪曲の裾野を広げる活動が続ける。

た。

浪曲の物語の舞台は、基本的にはひと昔前の日本です。だから、「古くさい」というイメージを持たれるかもしれない。けれど、過去を描く作品は、映画や小説、演劇などにもあります。観客や読み手は、時代や国を超え、物語の世界に浸り、自分の人生では得られない何かを見つめます。

浪曲も同じです。夫婦の絆や親子愛、友情など、時代が移っても変わらない人間の普遍的な感情が描かれているからこそ、聴き手は物語に引き込まれ、共感し、心を震わせるのです。浪曲師が、魂を込めて聴き手に投げる波動を、まずはそのまま受け止めて、感じてほしいと思います。

(聞き手・中田敦之)

この世界に飛び込んで、13年。思うのは、「浪曲は、頭で考えずに、体で感じる芸能だ」ということです。現代は、スピードや分かりやすさが重視され、すぐに

が、それとは違う価値観で物事を受け止めることも、ステキなことだと思うので

リズムに合わせて体を揺らして楽しんでくれます。ニューヨークなどで英訳版の浪曲を演じた時も、日本文化を知らない人たちでも、エンターテインメントの一つとして見てもらえまし

す。

未就学児向けの浪曲会では、子どもは、意味が分からなくても、歌や三味線の



# 土臭い節回しでスカッと

アナウンサーの中井美穂さんが今回対談したのは、16年前にタレントから浪曲の世界に飛び込んだ春野恵子さん。その華麗な転身に注目していたという中井さんが恵子さんの公演に駆け付け、浪曲の魅力などについて語り合った。

中井美穂の

## 見染め ました

（構成・文化部 横田加奈）

中 節をうなるところが気持ちいいです。立ってやるのも面白い。文楽と似ている部分もありますよね。太夫が三味線奏者の隣にいて、全部の役を演じるといふ。

恵 文楽には譜面があるけど、浪曲はアドリブのセッション。曲師が浪曲師との間合いをはかりながら弾きます。中 私も今日そこを注目していました。掛け合いがジャ

ズミたいで格好良かった。でも、「ケイコ先生」だったのに浪曲師になって、本当びっくりしました。

恵 元々ミュージカルをやりたいくて、劇団四季も受けたんですけど、ダンスで落ちちゃって。大学卒業後は小さな

出版社に就職してやりがいもあったのですが、本当にやりたいことではないなと思い、25歳で退職して芸能界を目指しました。

中 これと想ったら突っ走りタイプなんです。

恵 自分の中からおふれる情熱がないと行動できないんです。だから、テレビでいきなり売れて、所属事務所が決

まはるの・けいこ 東京都出身。東大卒業後、日本テレビ系「進め！電波少年」で家庭教師、タレントとして活躍したが、2003年に初アルバム「浪曲いず」を出した。京山幸枝若、京山幸太との三人会を20日に大阪・千日亭で、2月4日に東京・お江戸小路亭でそれぞれ開く。

恵子（以下、恵）やっとお会いできましたね。  
中井（以下、中）感動しました！恵さんのアルバム「浪曲いず」を聴いてきたのですが、収録演目の「両国夫婦花火」を生で聴くと、やっぱり全然違う。必死さというか、肉体から発するエネルギーがすごかったです。  
恵 落語や講談と違って、浪曲は歌う「節」とせりふの「歌阿」で人情やドラマを表

### 浪曲師 春野恵子さん



「師匠は60歳を過ぎてから『色っぽい』と言われ出したみたいだから、まだまだ鍛錬しないと」と話す春野恵子さん（右）。中井美穂さんは「アナウンサーになったばかりの頃、『声は人なり』と教わりました。経験が声に出ますよね」と応じた（大阪北区、常翔ホールで）＝吉野拓也撮影



力強い節回しと豊かな表情で、親子や夫婦の情を描く「両国夫婦花火」を披露する春野恵子さん（昨年11月25日、大阪北区の常翔ホールで）

### 中井「ケイコ先生」だったのに

恵子 今が幸せ……でも使えるものは使う！  
中 好きな演目は？  
恵 お客さんには、残酷な話が似合うと言われます。四国・石鐘山に伝わる「天狗の女房」とか、女の嫉妬や復讐が交錯する「樽屋おせん」とか……。  
中 いいですね。  
恵 やっぱ、近松門左衛門や井原西鶴の作品は好きです。何が善何が悪かを判断できずに、ちょっとしたことで人生の歯車が狂っていくような展開なんです。  
中 古典芸能は、同じ演目を色々な演者が何度も上演しています。その意味って何でしょう？  
恵 1回目はどんな物語なんだろうと聴く。次は違う演者さんで、そして同じ演者で

### 恵子 今が幸せ……でも使えるものは使う！

められた通りに働いていた時に「もっと自分の足で生きてみたい」と思ったんです。  
中 そこからなぜ演芸に？  
恵 きっかけは、ラジオで「一緒に遊ばせてくれた春風亭昇太さんの落語会です。一人の話芸なのに、頭の中に物語の世界が広がって衝撃でした。それで寄席に通い始めて浪曲を知り、春野百合子師匠（2016年死去）と出会ったんです。  
中 すごくいいですね。自分の人生を預けたいと思える人ができるって。  
恵 こういう人になりたい、こういう生き方をしたいと思える人がそばにいたことは幸せです。  
中 好きな演目には、残酷な話が似合うと言われます。四国・石鐘山に伝わる「天狗の女房」とか、女の嫉妬や復讐が交錯する「樽屋おせん」とか……。  
中 いいですね。  
恵 やっぱ、近松門左衛門や井原西鶴の作品は好きです。何が善何が悪かを判断できずに、ちょっとしたことで人生の歯車が狂っていくような展開なんです。  
中 古典芸能は、同じ演目を色々な演者が何度も上演しています。その意味って何でしょう？  
恵 1回目はどんな物語なんだろうと聴く。次は違う演者さんで、そして同じ演者で

も会場や観客が進えは違う愛わるのかと聴いてみる。様々な楽しみ方があるんです。現代は1回で理解できるものに流れがちですが、時間をかけてじっくりと感じてほしい。浪曲師の声にとぎめいたり、三味線のバチをばききにハッとしたり、気付け部分がたくさんあります。  
中 ただ座って、聴いて、そこにあるものを受け止めて楽しむということがなかなかできない。本当はたが感じて、知りたくなれば知る、べらいいいんでしょうね。  
恵 そうなんです。中 今はタレントの時と違いますか？  
恵 平和ですね。大阪に来て浪曲師になって幸せだなと思います。最初は「ケイコ先生」と言われるのが嫌でしたが、今は浪曲を広めるためならと、自分からどんなアピールしています。東大卒とかもね。使えるものは何でも使おう！  
中 英語版やロックに乗せた浪曲にも取り組んでおられますよね。今日聴いて、浪曲がすごく身近になりました。何より気持ち良くてスカッとする！そっか。NHKの教育番組で1年間講座をやったみたら面白そう。  
恵 それいいですね！

## 伝統芸